

BT データ

1. ファイル名

西暦年の下 2 桁 + 測点番号 (英文字 2 文字 + 数字 3 桁) + “.BT ” (例: 10TF012.BT 等)
 英文字 2 文字: 表層水温観測コード (表 1)

2. レコード定義

(a) ヘッダー部

- 第 1 レコード: 船名、航海回数 (年通算) 書式番号

10	20	30	40	50
Ship, R/V Ryofu Maru, Cruise number, 10-01, Format, V3.1				

1-21	船名	Ship,□R/V□Ryofu□Maru,	A4,A15,
22-43	航海回数	□Cruise□number,□10-01,	A14,A6,
44-56	書式番号	□Format,□V3.1	A7,A5

- 第 2 レコード: 測点番号

10
Station, TF-001

1-15	測点番号	Station,□TF-001	A7,A7
------	------	-----------------	-------

- 第 3 レコード: データレコード数
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 4 レコード: 観測開始 (着水) 時の年月日、時刻
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 5 レコード: 観測開始 (着水) 時の位置
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 6 レコード: 観測開始 (着水) 時の水深及び測深フラグ (表 2) (着底は Depth Flg. で示す)
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 7 レコード: 最寄りの海潮流測点番号、補助測点番号
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 8 レコード: 海面水温/塩分
各層観測報告 (XCTD データ) と同じ。
- 第 9 レコード: BT のタイプ (X-BT/D-BT)

10
Type , X-BT

1-8	BT のタイプ	Type□□□□,	A7,
9-13	BT のタイプ	□X-BT	A5

● X-BT の場合のみ

－ 第 10 レコード: プローブの型式、シリアル番号、記録器の型式

10 20 30 40 50

Probe , TSK T-6 , S/N, 251402, (WMO Code: 212),

60 70 80 90

Recorder , TSK MK-130 Comp., (WMO Code: 46)

1-24	プローブ型式	Probe□□,□...TSK□T-6,	A7,A15,
25-39	シリアル番号	□S/N,□□□251402,	A4,A9,
40-56	WMO□Code: $I_X I_X I_X$ 国際気象通報式共通符 号表 C-3 による (表 3)	□(WMO□Code:□212),	A16,
57-84	記録器	Recorder□,□TSK□MK-130□Comp.,	A9,A17,
85-99	WMO□Code: $X_R X_R$ 国際気象通報式共通符 号表 C-4 による (表 4)	□(WMO□Code:□46)	A15

－ 第 11 レコード: 深度 z (m) をプローブ投入時からの経過時間 t (s) で求める際に用いた深度式 ($z = at + bt^2$) の係数 (表 3)

10 20

Coef. , a=6.691, b=-0.00225

1-8	深度式の係数	Coef.□□,	A7,
9-17		□a=6.691,	A3 F5.3,
18-28		□b=-0.00225	A3 F8.5

● 第 10~11(X-BT の場合 12~13) レコード: データの項目略号及び単位略号

10

DEPTH, TEMP, F

10

METERS, DEG-C,

当該測点において観測したデータの項目略号を記載する。ただし、当該データのフラグは項目略号の次に“ F ”として記載する。

1-9	深度	□□□DEPTH,	A8,
10-18	水温・フラグ	□□□TEMP,F	A7,A1

当該測点において観測したデータの単位略号についてのみ記載する。

1-9	深度	□□METERS,	A8,
10-18	水温・フラグ	□□DEG-C,□	A7,A1

(b) データ部

1m 毎にデータを 1 レコードに記述する。各データの水温フラグは表 5 による。

10

0, 20.66, 2

1-9	深度	□□□□□□□□0,	I8,
10-18	水温・フラグ	□□20.66,2	F7.2,I1

表 1: 観測船コード

観測船名	各層観測	表層水温観測	海潮流観測		表面観測
			自記流速計	表層海流計	
Ryofu Maru	RF	TF	CF	AF	FF
Keifu Maru	KS	TS	CS	AS	FS

表 2: 測深フラグ一覧

フラグ番号	定義
1	音響測深機による測深 (補正無し)
2	音響測深機による測深 (補正あり)†
5	CTD とアルチメーターによる水深
6	X-BT 又は X-CTD 着底による水深
9	測定無し

†補正方法は-.SUM ファイルに記述する。
 該当するものが複数ある場合は、数字の大きなものとする。

表 3: プローブコードと深度-時間換算式の係数

深度-時間換算式を下に示す。

$$z_m = a_m * t + b_m * t^2$$

ここで、 z_m は深度、 t はプローブが海面に到達してからの経過秒。 a_m と b_m は、ともに定数である。

コード	製造会社	プローブタイプ	係数	
			a_m	b_m
212	Tsurumi Seiki Co.	T-6	6.691	-0.00225
222	Tsurumi Seiki Co.	T-7	6.691	-0.00225
231	Tsurumi Seiki Co.	T-5	6.828	-0.00182
252	Tsurumi Seiki Co.	Deep Blue	6.691	-0.00225

表 4: BT-XBT プロープの測器コード

コード	測器名
32	Murayama Denki Z-60-16-III
33	Murayama Denki Z-60-16-II
45	Tsurumi Seiki Co. MK-100
46	Tsurumi Seiki Co. MK-130 Compatible recorder

表 5: CTD/XCT/BT/ACM データ品質フラグ一覧

フラグ番号	定義
1	未校正
2	測定値に問題なし
3	測定値に疑問あり
4	測定不良
5	報告なし
6	2decibar 以上離れた層のデータによる内挿値
7	スパイク除去 (CTD のみ)
9	データ無し

該当するものが複数ある場合は、数字の大きなものとする。